



豊かな自然と歴史と未来が融合したまち「いこま」

生駒市環境基本計画のビジョンをよむ

新代表就任あいさつにかえて
矢田 千鶴子

生駒市環境基本計画推進会議通常総会で承認された矢田千鶴子新代表のごあいさつをお届けします。矢田代表は、楠下前代表とともに生駒市環境基本計画策定委員会と当推進会議設立からかかわってきた中の一人です。残すところあと4年となった同基本計画の実現に向けての考えを伺いました。

総合ビジョン

さらさら さらさら すいすい

気持ちのいい「音」があふれています

わいわい がやがや わくわく たのしそ「声」があふれています

徒歩や自転車で「いこま」をめぐると感じます

生駒山や矢田丘陵の恵みをいただき 竜田川の清流が流れる

自然がいっぱいの緑ゆたかなまち

「こんにちは～」 「気をつけて～」 「ありがと～」

中略

私たちは学びました みんなで力を合わせれば

夢はかなうということを 夢は守れるということを

私たちはつなぎます 未来あるこども達に このまちを

豊かな自然と歴史と未来が融合したまち「いこま」

2015年6月14日に開催の、生駒市環境基本計画推進会議通常総会で、新代表に就任しました、矢田千鶴子です。まず皆様方に就任あいさつの遅れましたこと、深くお詫びいたします。

この2ヶ月、多くの方からなぜ代表になろうと決心したのか、よくたずねられました。自分でもよくわからなかったというのが本音です。改めて考えました。いきついたのが、左記の総合ビジョンです。私自身が子育てをはじめ環境に関心を持ち出した原点のことばが多く含まれています。また、計画を実現する組織のありかたも同時にうたわれています。逆にいえば、ECO-net 生駒の活動がビジョンに対してどうだったのかということです。

「わいわい がやがや わくわく」

と活動していたでしょうか。みんなで力を合わせれば 夢がかない、実現するというのを忘れていたのではないのでしょうか。私自身の反省でもあります。

就任あいさつでは、2つのことを申し上げました。愚直に生駒市環境基本計画の実現していくことと、小紫市長からの宿題でもある自立的発展とまちづくりに連携した活動です。また、10年計画の後4年の活動を考える時期です。活動の楽しさとは何か、活動の目的・着地点とは何か、そのための組織のあり方、行政や諸団体との協働を考えていきましょう、とも申し上げました。

具体的にすることは何か、河川・大気・くらし・まちづくり・エネルギーなどの課題です。今と同じ？ いえ、大きなくりのテーマは普遍でも、取り組みの切り口は新しく、世の中の動きに敏感であることが大切です。

環境基本計画策定から8年以上が経過し、また2011年の東日本大震災を境に社会情勢は大きく転換しました。計画策定時に学んだような地球規模の環境問題を、足元の暮らしに結び付けて行動することが、私たちの使命でしょう。

力をあわせれば夢はかなう！

これらのことに未着手のままの就任あいさつとはおこがましいのですが、私の好きな『協』を×の1文字として、あいさつといたします。ちなみに、『かなう』と読みます。こころと力を合わせれば、夢は協います。皆様といっしょに計画実現・まちづくりにすすんでいきましょう。今後の活動のすすめ方を問うアンケートに取り組んでいます。ECO-net 生駒に関りのある方にお願いますので、ご協力くださいますよう、併せてお願いいたします。

生駒市環境基本計画推進会議 代表 矢田 千鶴子



『参加・協力 ありがとうございます！！』 プレミアム フローズン アイス 920 食完売

どんどこ祭に ECO-net 生駒で出店

8月1日に第14回いこまどんどまつりが開催され、ECO-net 生駒では、エコステーションとして会場で使用されたリユース食器の回収、啓発と『プレミアムフローズン(かき氷)』を出店しました。当日、食器の回収、かき氷の販売にご協力くださった皆さん、ありがとうございます。



昨年のリユース食器の使用は、雨でごみ減量に効果的だったか不明に終わったため、今年もどんどこまつり実行委員会を中心にして啓発することになったものです。リユース食器使用出店ブースの中ほどに「エコステーション」を設け、休憩所と合わせて食器の回収と啓発を行いました。一方、「プレミアムフローズン」も商品お渡し時にリユース食器を使用していることを伝え、回収協力を訴えました。

「プレミアムフローズン」は、イチゴ・マンゴー・抹茶&小豆の3種類があり、原材料にこだわり、組み合わせを工夫し、デザインにこだわった逸品。

1時間以上並びチケット購入、商品をもらう列にまた10分以上と、人気で長蛇の列。20時30分ごろには、用意した材料もなくなり完売！ 920食でした。

並んでいる人からは、「去年も食べたので…」「お祭りでこんなに上等のかき氷を食べられると思ってなかった！」「やばい！」とスタッフによるこびの声がたくさん届きました。



北コミュニティセンターで

ソーラークッカー手づくり教室開催

エネルギー環境部会

8月9日(日)北コミュニティセンターISTA はばたきで、エネルギー環境部会が『ソーラークッカー手づくり教室』を開催しました。対象は、小学生10人とその保護者。講師は、ソーラーエネルギー教育指導員の西田三千男さんです。

子どもたちは、電気もガスも使わないで太陽光で調理する？ しかも手づくりの工作で?? と興味津々の様子でした。西田講師の説明を聞いて、さっそく工作に取り掛かりましたが……。同伴の保護者の大活躍(!)やスタッフの協力もあって、ようやく完成。完成したソーラークッカーに水と卵を入れてペランダに並べました。

待つ間に、地球温暖化のビデオ見て、省エネの勉強をしました。約1時間後、蒸し卵ができました！ でき立てホヤホヤの蒸し卵を食べて「オイシイ！」と満足の顔がおカオ(*_*). 好天に恵まれて、お日様エネルギーの大きさを実感することができました。ソーラークッカーで、ご飯やチーズケーキもできると聞いて、またニッコリ。



スタッフの橋木さんは、「これからも、晴れた日に調理を楽しみながら、省エネ・エネルギー・地球温暖化などを考える材料として使っていただければ」と話しました。

お知らせとお願い

- ◎ 8月下旬をめどに、アンケートを配布します。会の運営に活かしますので、アンケートに回答くださいますよう、お願いいたします。
- ◎ 9月下旬に ECO-net 生駒の活動について話しあう全体会開催の予定です。日時・場所が決まり次第、ご案内いたします。皆さんの参加と忌憚のないご意見をお待ちしております。
- ◎ みどりのカーテンコンテスト締切迫る！